

科学研究費助成事業（国際情報発信強化） 中間評価

課題番号	15HP2023	事業期間	平成 27 年度～平成 31 年度
取組の名称		団体名称	代表者名 (職名・氏名)
日本薬物動態学会英文誌 DMPK の国際 情報発信の推進		一般社団法人 日本薬物動態学会	会長 大森 栄
学術刊行物の名称			(略称)
Drug Metabolism and Pharmacokinetics			DMPK

【平成 29 年度 中間評価結果】

評価	評価基準
A+	当初計画を上回っており、かつ改善した評価指標による目標達成が見込まれる。
A	当初計画が達成されつつあり、今後の目標達成が見込まれる。
○ A-	当初計画より一部遅れは見られるが、概ね今後の目標達成が見込まれる。
B	今後の目標達成の見込みはあるが、経費の使用に問題があるため、経費の減額が適当である。
C	今後の目標達成が見込まれないため、取組の中止が適当である。
(評価意見)	
<p>英文誌 DMPK の国際情報発信強化の経費は、主に Elsevier 社の Science Direct への出版体制の移行に使用し、現在移行が完了している。さらに、国際薬物動態学会 (ISSX) の現会長を編集委員に迎え、編集委員数や投稿数が増加するなど、その成果は評価できる。</p> <p>しかし、申請時の計画書（平成 27 年度）と中間評価報告書（平成 29 年度）の内容の違いが明確でないため、成果の達成度には曖昧な印象を受ける。具体的には、インパクトファクターや会員数の減少に関する記述が少なく、これらの点に対する検討が十分になされているかどうか不明である。</p> <p>①インパクトファクターは、申請時の計画書にも今回の中間評価報告書にも数値が記載されているが、いずれも取組前の結果であり、本取組開始後の経緯が中間評価報告書に言及されていない。インパクトファクターが平成 27 年度以降に下降した原因の究明や今後の上昇に向けた対策が必要であろう。</p> <p>②編集委員や投稿数の増加はグラフにも示されているが、会員数が応募時よりも減少しており、このことは、今後の計画の検討課題であろう。</p>	